

坂本支所だより

— 第137号 —

発行：八代市坂本支所
編集：坂本支所地域振興課 (IP) Tel (8) 45-2211

坂本町の人口(11月末現在)

()は前月比

世帯数	1,794 戸	(0)
男性	1,724 人	(-4)
女性	2,134 人	(-6)
合計	3,858 人	(-10)



明けまして おめでとうございます。

～ 熊本地震からの復興 酉年の2017年 大きく羽ばたきましょう! ～



坂本校区民体育祭「体力づくり駅伝大会」

12月11日(日)、坂本校区民体育祭「体力づくり駅伝大会」が開催されました。当日は、10時に鮎尾大平地区の御堂さん前をスタートし、9区間10.6kmを各振興会代表の選手たちが、健脚を競いました。

レースでは、序盤、藤本がリードする展開でしたが、中盤田上が一時、首位となる場面も見られ白熱した走りとなりました。レース終盤、再び、藤本が巻き返し、田上を振り切ったの優勝となりました。

2位 田上、3位 百済来、以下、西部、中谷、鮎尾、中津道の着順でした。本大会にご協力いただいた選手、役員並びに沿道から温かいご声援をいただいた皆さん、ご協力ありがとうございました。



「優勝した藤本地域振興会チーム」

さかもと温泉センター(株)年末年始営業のご案内

◆ さかもと温泉センタークレオン

	12月29日(木)	12月30日(金)	12月31日(土)	1月1日(日)	1月2日(月)	1月3日(火)
温泉	休館日	10:00～21:00 (最終入館20:30)	休館	休館	9:00～21:00 (最終入館20:30)	10:00～21:00 (最終入館20:30)
食堂	休館日	11:00～14:00 17:00～19:45	休館	休館	11:00～19:00	11:00～14:00 17:00～19:00

※食堂の終了時間は、オーダーストップの時間です。

◆ 坂本憩いの家

	12月29日(木)	12月30日(金)	12月31日(土)	1月1日(日)	1月2日(月)	1月3日(火)
温泉	12:00～20:00 (最終入館19:30)	12:00～20:00 (最終入館19:30)	休館	休館	10:00～20:00 (最終入館19:30)	12:00～20:00 (最終入館19:30)

◆ 広域交流センターさかもと館

	12月29日(木)	12月30日(金)	12月31日(土)	1月1日(日)	1月2日(月)	1月3日(火)
物産館	9:00～18:00	9:00～18:00	休館	休館	9:00～18:00	9:00～18:00
食堂	11:00～14:00 (通常営業)	11:00～15:00	休館	休館	10:00～15:30	10:00～15:30

速報!! 坂本100人会議を開催しました!!

テーマ:坂本町の魅力と課題

★20代★

魅力: 駐車場が自由、土地が安い、空き家がいろいろある、季節ごとの風景が楽しめる、川で遊ぶことができる、水とお米がおいしい、食の自給ができる、お隣りさんと物々交換できる、温泉が3つある、天文台がある

課題: ポートハウスを使えるようにしてほしい、廃校の活用を考えたほうが良い、イベント等に参加する人が減った、夜まで開いている店がない、居酒屋がない、坂本の中で職がない、雨の日は山の土砂災害がこわい、自然災害が多い、空き家、使っていない田畑の情報が少ない、若い場が少ない

★30代・40代★

魅力: 遊べる川がある、SLを近くで見ることが出来る、自然の果樹が取り放題、ほたもちへの情熱、隠れた見どころが多い(観光資源)、自転車乗りにはたまらない激坂が多くある、家賃が安い、保育園が4つもある、隣近所の人が気にかけてくれる、ケーブルテレビで地元情報が得られる

課題: 子どもがいない、子どもを育てる世代が少ない、消滅しそうな集落あり、10年後、近所に何人残っているか不安、若者が集まる場所がない、校区毎ではなく坂本町単位(スケール)で物事を決めては、居酒屋がない、八代からのタクシー代が高い、空き家情報が少ない、宣伝不足(HP等)、インターネットが繋がりにくい

★50代★

魅力: 走水の滝が国の名勝になっている、進取の気風がある(舟運、製紙工場、ダム建設、etc.)、撤去された子供たちと、それを支える温かい家族、学校で協力的な家庭が多い(授業参観、懇談への出席等)、地域(隣同士)のつながりが強い、助け合いの心で暮らしやすい、のどかで時間がゆっくりしている

課題: 産業遺産を活かしていない、(球磨川第一橋梁、坂本駅舎、深木発電所跡など)、交通事故の心配(219号線)、コミュニケーションの場が少ない、集落に若い人がいないので集落活動が出来にくい、状況にある(川そうじ等)、生活の足が軽くない(交通の便が悪い)、土砂災害の危険が常につきまといるといいうイメージ、仕事場がない、旧小学校区間のつながり

★60代★

魅力: 里地里山の自然の豊かさ、水と空気と人の温もり、地域内で資源循環ができる、皆さんが何かしようという意欲はある、危険感を持つ人達が集まれる組織がある(住民自治協議会など)、漬物等の名人が多い、高速道路ICから20分のアクセス、町内にJR駅が5か所存在する、SLが坂本駅に停車する

課題: 災害発生時に避難場所まで遠い、山林が多いが価値がない、観光地、景勝地を無駄にしている、人口減少が著しく、限界集落が多い、若者たちの交流が少なく、1人住まいが多い、役員のなり手がない(道具は入ったままで)、空き家が多くなつた(道具は入ったままで)、店舗が少なく、日用品等買物が不便、若者や子供たちを満足させるものが少ない、S30～40年代に比べて文化施設が不足している、地域の人が集まる場所(施設)がない、産業が欲しい(自然を生かしたもの)、イベントなどの発信が少ない、遠方の人には知らせにくい

★70代以上★

魅力: 魚のいないなくなった球磨川、自然な川遊びができない、深水の走水の滝は活かしきれいでない、若者の地域内定着がない(仕事の関係)、農林業の後継者がほしい、小学生の遊び場がない、相手もいない、高齢化が進み、共同作業が難しくなっている、隣近所との付き合いは非常に強い部分と町並みに弱い点もある

課題: 百済来川は昔の川に戻りつつある、地域の宝球磨川、木々子は地区の行事が多く、地域内の協調性、和がとれている、不自由な方への手助けが出来つつある、子供たちが業直である、高齢者がやさしい、おもいやりがある、高年齢者がやさしい、表立って大きくない、少ない、ご近所トラブル、表立って大きくない、少ない

★共通の意見★

・自然豊か
・食べ物が豊富、美味しい
・人が良い、穏やか、優しい
・子どもたちが純朴、素直。
・ワイワイバークがある
・水々子の七夕綱がある
・温泉をはじめとした施設が多い
・インフンシ、鹿が多い
・若者や子どもが少ない
・雇用がない
・空き家が多い
・交通の便が悪い
・情報発信力が弱い
・自然災害が多い
・日用品等、買いたい物をする店舗が少ない
・コミュニケーションの場がない

今年「第1回坂本100人会議」を開催したのは、「荒瀬ダム撤去に伴う地域づくり部会」です。この組織は昨年2015年の9月に、ダム撤去後の球磨川を活かした地域振興について考えていこうということで、県の企業局によって設置されました。これまでは旧校区単位での地域振興が盛んな坂本町でありましたが、少子高齢化により存続が厳しい地域も増えてきたこともあり、坂本町全体で考える必要があるのでは、ないかと住民の声も聞かれました。現在、坂本町には坂本住民自治協議会も発足していますので、今後は町全体でのまちづくりを考えていき、この100人会議で人材発掘や情報収集、そして住民同士の横のつながりをつくっていくことが目的です。

100人会議は今後も続けて開催されますので、少しでも興味のある方は積極的にご参加ください。どなたでも参加できますよ!

開催日: 11月25日
場所: 坂本公民館

毎月11日は『人権を確かめ合う日』です。